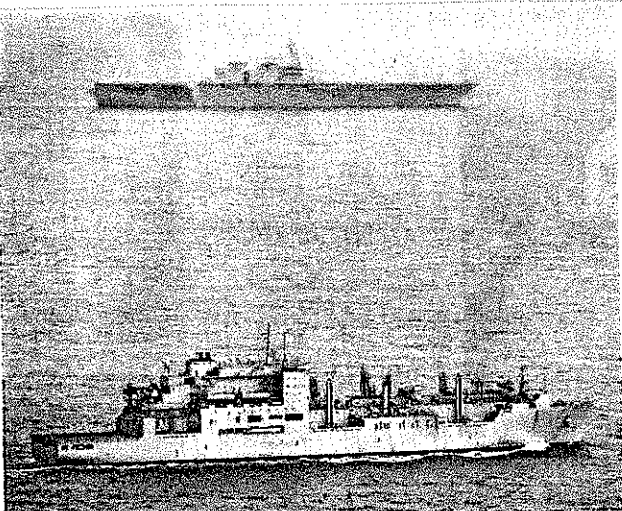
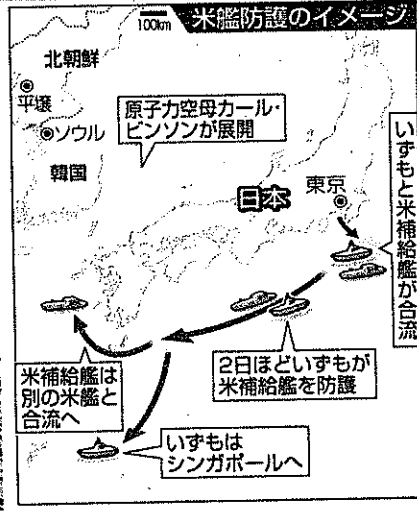


自衛隊初の米艦防護

安保法の新任務

海上自衛隊のヘリコプタ「搭載型護衛艦」「いずも」は一日午後、房総半島沖で米海軍の補給艦と合流し、安保関連法の新任務に当た



安全保障関連法に基づき米軍の艦艇を守る「武器等防護」を実施した。自衛隊がある。憲法違反との指摘もあ

るのは初。緊迫する北朝鮮情勢をにらみ、日米の連携強化をアピールする狙いがある。憲法違反との指摘もあ

論説⑥面

海自最大の艦艇いずもは

安保法の新任務

安全保障関連法により、歴代政権が禁じていた集団的自衛権の行使が可能になるなど、自衛隊の任務が大幅に拡大。国連平和維持活動(PKO)で駆け付け警護や宿営地の共同防衛が可能になったほか、「日本の防衛に資する活動」をしている他国軍の艦船などを守る武器等防護もできるようになった。従来、米軍を対象国を広げ、弾薬提供や発進準備中の戦闘機への給油など支援内容も拡充した。

安保関連法「艦」へ「武器等防護」のため、米海軍補給艦(手前)と共に航行する海上自衛隊の護衛艦「いずも」

1日午後5時57分、伊豆諸島・神津島沖で

一日午前、横須賀基地を出港した。合流した米補給艦の周辺を警戒監視するなど防護し、二日ほどかけて太平洋を四国沖まで航行。その後、米補給艦と別れ、今月十五日のシンガポール海軍主催の国際艦艇式に参加する。

一方、米補給艦は北朝鮮の弾道ミサイル発射に備えて日本付近に展開中の米艦船や、カール・ビンソン周辺の船に燃料補給する可能性がある。

岸田文雄外相は一日、訪米先のトルクメニスタンで、米艦防護に関して「日米同盟の抑止力、対応力が強固であることを示す」という意味で大変有意義だ」と述べた。

同二十九日に長崎県沖の日本海に入るまで、陣形を整える動きや通信訓練を繰り返した。空自のF15戦闘機も空母艦載機と戦闘訓練を実施した。

昨年三月末に施行された安保法を巡っては同十一月、南スーダン国連平和維持活動(PKO)の陸上自衛隊部隊に「駆け付け警護」が付与されたが、実行されていない。

武器等防護は、自衛隊が弾薬や艦船を守る任務。安保法で対象を米軍などの他国軍に拡大した。平時や、特定の国からの武力行使に至らないグレーゾーン事態の下で日本の防衛に資する活動に当たる他国軍が対象となり、主に米軍艦船の防護を想定している。

安保法は従来の憲法解釈を変えて集団的自衛権の行使を可能とした。違憲との批判が相次ぎ、各地で訴訟も起きている。